

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	つなぐ松森（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日 ～ 2025年1月17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年12月16日 ～ 2025年1月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	（利用児童、保護者の）支援に対する満足度	運動以外にも、学習や感覚遊びなど五感で楽しめる活動を計画している。また、サプの活動も準備しており、利用日数が多い児童も楽しめるよう取り組んでいる。	1日預かりの際に外出があまりできていなかったため、外出プログラムの見直しをしていく。
2	子どもの様子を保護者さまに伝えることで、良い関係性を築くことができている。	連絡帳に書ききれなかった内容を丁寧に説明をしている。利用中に本人が出来たこと、次に頑張りたいことを伝えるようにしている。	誤解を招かないような説明をしていき、更により良い関係を構築できるようにしていく。
3	活動の中で地域の方との交流が出来ている。	ハロウィン等の活動の時には地域の方や、自動車学校に伺い交流をしている。近隣の施設に行き、社会交流も出来ている。	活動以外でもイベントなどで地域の方との交流を増やしていくことも検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員欠員のため保護者へ送迎依頼をしなければならぬこと。	職員の欠席による人員不足によって送迎を回せないことがある。	他部署からの応援体制の構築や、募集・採用による人員確保。
2	利用人数の増加に伴い、活動部屋が手狭になってきている。	利用者が多い時にはスペースが狭く感じる時がある。	事業所の広さを広げる事は現実的に難しい。運用を見直しし、事業所全体を使えるように検討する。
3	視線入力ツールなどの導入ができていない。	使いたいと感じてはいるが、導入費用や有用性の関係で導入まで至っていない。	ツールを用いる事での支援の幅がどこまで広がるか、導入する事での利用者にとってどのようなメリットがあるかを検討していく。